

事業所名

重症児デイサービスなないろ(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7 年

2 月

24 日

法人（事業所）理念		（法人理念）子どもたちの圧倒的な笑顔を創る （事業所理念）ここに寄り添う、安心と笑顔のひとつとき						
支援方針		こどもが安心して楽しく過ごせる環境、家族がほっと一息つける時間がもてるようお手伝いします。 こども主体とした支援を行い、生活の中にたくさんの楽しみを見いだせるように、未経験なことにチャレンジする機会を提供します。 こどもの体の状態や成長段階に合わせて工夫し、多職種が連携・共有してこどもを支えます。						
営業時間			9 時	00 分から	17 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	日々の健康管理（バイタル測定・モニター管理等）全身状態の観察をします。 食事・睡眠・排泄の介助を行い、生活リズムを整えます。 全身状態や呼吸状態の細やかな観察をすることで、体調を安定させ定期的な登所ができるよう支援します。 こどもの心と身体がリラックスできるよう、快適で心地よい環境づくりをします。						
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の基本的機能の維持・向上を図ります。 感覚に働きかけるあそびを通して様々な経験を積み重ね、身体と心の成長・発達を促します。						
	認知・行動	朝の会などを毎日行い、ルーティン化することで見通しがもてるよう支援します。 具体物の提示、声かけなど、五感を刺激した活動から、自らの興味・関心を育てていきます。						
	言語 コミュニケーション	表情・動作・発声など、こどもに合った表出方法で自分の気持ちを表現できるよう支援します。 また、様々な情景をこどもの状態に合った方法で伝えることで、その意味と結びつくようにしていきます。 こどもの気持ちを受け止め共感することで、心の成長を促します。						
	人間関係 社会性	職員とたくさんふれあい、信頼関係を築けるよう支援します。 また、お友だちの輪に入り、お互いの存在を認識することで、そこから新たな世界が広がっていけるよう支援します。						
家族支援		保護者やきょうだいとの関わり、家庭での困りごと、将来の心配事などの相談援助をします。 保護者が想いを共有できる場、保護者同士の繋がりを支援します				移行支援	今後のライフステージにむけて、家族への情報共有や 見学相談の調整をします。 相談員や保健師、看護師等との連携を行います。	
地域支援・地域連携		医療機関、訪問看護、保健機関等の専門機関や保育・教育との連携を行います。 地域との交流や関係機関と連携を図り、保護者の想いに寄り添いながら、地域で安心して生活が送れるようお手伝いします。				職員の質の向上	支援の振り返り、改善点・反省点など、毎月1～2回の 職員会議、勉強会を実施します。 公的な外部研修に参加したスタッフによって、社内に伝達する 研修会を実施し、スタッフの知識と技術の向上を図ります。	
主な行事等		季節が感じられるように、季節に沿った活動や行事を開催します。（伝承あそび、お花見、夏祭り、プール、運動会等） 親子遠足や参観日などを開催し、こどもの成長が見られる場を設け、親子のふれ合いを楽しみ、きょうだいの交流を図ります。 また、スタッフと保護者が交流することで支援方針を共有できる機会をつくります。						

事業所名

重症児デイサービスないうろ
(放課後等デイサービス)

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

24 日

法人（事業所）理念		（法人理念）子どもたちの圧倒的な笑顔を創る （事業所理念）こころに寄り添う、安心と笑顔のひとつき									
支援方針		こどもが安心して楽しく過ごせる環境、家族がほっと一息つける時間がもてるようお手伝いします。 こども主体とした支援を行い、生活の中にたくさんの楽しみを見いだせるように、未経験なことにチャレンジする機会を提供します。 こどもの体の状態や成長段階に合わせて工夫し、多職種が連携・共有してこどもを支えます。									
営業時間		9 時		00 分から		17 時		00 分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	日々の健康管理（バイタル測定・モニター管理等）全身状態の観察をします。 食事・睡眠・排泄の介助を行い、生活リズムを整えます。 全身状態や呼吸状態の細やかな観察をすることで、体調を安定させ定期的な登所ができるよう支援します。 こどもの心と身体がリラックスできるよう、快適で心地よい環境づくりをします。									
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の基本的機能の維持・向上を図ります。 感覚に働きかけるあそびを通して様々な経験を積み重ね、身体と心の成長・発達を促します。									
	認知・行動	朝の会などを毎日行い、ルーティン化することで見通しがもてるよう支援します。 具体物の提示、声かけなど、五感を刺激した活動から、自らの興味・関心を育てていきます。									
	言語 コミュニケーション	表情・動作・発声など、こどもに合った表出方法で自分の気持ちを表現できるよう支援します。 また、様々な情景をこどもの状態に合った方法で伝えることで、その意味と結びつくようにしていきます。 こどもの気持ちを受け止め共感することで、心の成長を促します。									
	人間関係 社会性	職員とたくさんふれあい、信頼関係を築けるよう支援します。 また、小集団の中に入り、お互いの存在を認識することで、そこから新たな世界が広がっていけるよう支援します。									
家族支援		保護者やきょうだいとの関わり、家庭での困りごと、将来の心配事などの相談援助をします。 保護者が想いを共有できる場、保護者同士の繋がりを支援します					移行支援		今後のライフステージにむけて、家族への情報共有や 見学相談の調整をします。 相談員や保健師、看護師等との連携を行います。		
地域支援・地域連携		医療機関、訪問看護、保健機関等の専門機関や保育・教育との連携を行います。 地域との交流や関係機関と連携を図り、保護者の想いに寄り添いながら、地域で安心して生活が送れるようお手伝いします。					職員の質の向上		支援の振り返り、改善点・反省点など、毎月1～2回の 職員会議、勉強会を実施します。 公的な外部研修に参加したスタッフによって、社内に伝達する 研修会を実施し、スタッフの知識と技術の向上を図ります。		
主な行事等		季節が感じられるように、季節に沿った活動や行事を開催します。（伝承あそび、お花見、夏祭り、プール、運動会等） 外出支援を行い、こどもの社会参加を促進します。また、公衆道徳を知り、学ぶ体験ができる機会をつくります。 参観日などを開催し、こどもの成長が見られる場を設け、親子のふれ合いを楽しみ、きょうだいの交流を図ります。 また、スタッフと保護者が交流することで支援方針を共有できる機会をつくります。									